

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在イタリア大使館

記入日 平成25年3月13日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

特になし

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向（改正等がなければ記入不要）

平成24年12月21日、伊政府2013年度予算案（予算法案及び安定化法案）が議会を通過したところ、インフラ整備関係の概要は以下の通り。

1. モーゼ・システム（ヴェネチア救済プロジェクト）向け予算を2013-2015年の間で1億ユーロ減額する（割当額は13年が4億5千、14年が4億、15年が3億5百万、16年が4億ユーロ）。
2. トリノ・リヨン線の費用（15年間で20億ユーロ）が承認された。
3. メッシーナ海峡大橋計画見直しのための費用として3億ユーロをプールする。そのうち2億5千万ユーロを、工事委託業者との契約内容の変更を行う見込みであるメッシーナ公団に割り当てる。

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	高速鉄道トリノ・リヨン線 年内に建設作業の割り振りなどが行われる見込み とのことです。一方で、イタリア・フランス間の陸上輸送量が減少しているため、事業を正当化する別の理由が求められる。	2013/1/9 IL SOLE 24 ORE	あり/なし

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

特になし